

「新たな県民運動 取組方針 報告書(案)」に対するパブリック・コメントと対応

NO.	項目(ページ)	御意見の概要	対応
1	3テーマと目指すべき方向性 4新たな県民運動の展開イメージ (p2~4)	<p>テーマについてであるがそもそも心の健康・体の健康について関心を持たない県民が一体どれくらいいると考えているんだろう。</p> <p>つまりこのテーマについて県民に浸透させるにはたいした啓発など不要であり、おおかたの県民はすでにこのテーマを理解しかつ相当程度実践しているというのが現状である。そのことは地区の運動会からスポーツ少年団、高齢者のゲートボールまで事例は枚挙に暇がない。だからこのテーマをいまさら県民運動とする意味づけがさっぱり分からない。</p> <p>「チャレンジふくしま」を県民運動のターゲットとするのならこの原発事故からの復興へのチャレンジこそ県民こそ取り組むべきテーマであり、世界中が共感すると考える。</p> <p>県民がそれぞれの立場で風評被害や風化に立ち向かい復興の進み具合を友達や知人に情報発信していく。</p> <p>当面の目標年度を2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて県内開催予定の競技への応援や周辺環境の整備に取り組むのもよい。</p>	<p>東日本大震災以降、子どもの肥満傾向が高まっており、大人もメタボリック症候群該当者の割合が増加するなど、県民の健康課題が顕著になっています。</p> <p>また、近年、県民の「食」への関心や「スポーツ」などに対する注目が高まっています。</p> <p>県民運動として多くの県民の皆さんに参加し、実践していただくには、子どもからお年寄りまで、誰もが参加することができ、自分のこととして、簡単に取り組み、実感することができるテーマが望ましいと考えたことから、新たな県民運動のテーマとして「運動」や「食」を通した「健康」が相応しいとしました。</p> <p>さらに、県全体で復興を進めていくには、県民の皆さん自身が、元気で健康であり、笑顔でいることが、非常に重要であると考えます。</p>